



CLARTE

絶対失敗しない！

オーダー収納で素敵なライフスタイル実現術

Absolutely not fail ! Nice lifestyle realized surgery in the order storage.

2016.05.24

株式会社高崎リビング

オーダー収納を選ぶ理由

既製品の家具で、暮らしに満足できていますか。

- 「片付いたきれいなお部屋にお客様を呼びたい」
- 「リフォームしたいけど収納はどうしよう」
- 「収納を増やしたいけどスペースがない」
- 「地震の時、家具が倒れてくるか心配」



こうした悩みを解決したいけど、解決できないまま暮らされているのが一般的だと思います。オーダー収納は、暮らしのお悩みに寄り添い解決できる一つの方法です。

多種多様な悩みや思いの種類

あなたやご家族が快適に過ごすために、どのようなお宅でも悩みや思いはあるものです。下記のようなお悩みや思いの解決はオーダー収納であれば可能です。

✔ 悩み ① … 「統一感」

既製品の家具は、欲しい家具と欲しいサイズの不マッチが多く、揃えるのが難しい。いろいろな家具を買い足していった結果、統一感のないテイストやサイズになってしまった。統一感のあるすっきりしたお部屋にしたい。

✔ 悩み ② … 「置き場のない物が溢れている」

挙げればきりがありませんが、これらのものに置き場がないのはよくあることです。

かばん / 習い事道具 / ペットのトイレ / ペット用品 / 新聞・雑誌 / ルンバ / 洗濯物
掃除機 / 扇風機 / 暖房器 / コート / 食品ストック / 防災用品 / 季節外の靴 / おもちゃ
コレクション品 / 趣味道具 / 薬 / 学校からの手紙 / ベビー用品 etc.

✔ 悩み ③ … 「デッドスペースの有効利用」

これらのスペースに収納が増えると、それらの場所に関するものがすぐ手の届く場所にしまえます。

梁廻り / 柱廻り / コンセント廻り / 洗濯機上の空間 / 冷蔵庫上の空間 / トイレ内上部の空間
キッチンカウンター下の空間 / 既存テレビボードの上の空間 / ピアノの上の空間
既存食器棚の上の空間 / 下駄箱廻りの空間

✔ 悩み ④ … 「暮らしの変化」

暮らしの変化に伴って必要な収納も変化します。暮らしの変化に合った収納で快適な暮らしが叶います。

子供の誕生 / 子供の成長 / 子供の独立 / 親の介護 / シニアライフ

オーダー収納と既製品家具の違い

1. 搬入・取付

既製品は組立をお客様が行う必要がある場合も多く、力の必要な作業を伴うことも。オーダー収納は搬入・取付けを職人が行います。

2. 地震対策

本棚や食器棚などの背の高い既製品の場合は、突っ張り棒など見た目があまり良くない地震対策をしたり、金具が外れて倒れる心配がありますが、天井との隙間が少ないオーダー収納は天井がじゃまして倒れる心配はなくなりますし、見た目にもすっきりします。背の低い家具でもオーダー収納は壁に固定するので倒れる心配はありません。

3. サイズ

既製品は気に入ったデザインであっても、設置したい場所にサイズが合わない、梁などで設置できないという場合もあります。それに比べ、オーダー収納は、設置したい場所にぴったり合う家具を納めることができます。

4. 機能性

床から天井まで、壁一面を収納スペースにできる為、既製品を並べるよりもお部屋が広く使えます。

5. 使い勝手

既製品はそのままのデザイン・機能での購入になりますが、オーダー収納はあなたのアイデアや工夫を形にできるため使い勝手が格段に良くなります。

6. 統一感

既製品では色を選ぶことはできますが、オーダー収納では、お部屋のデザインや色、または既存の家具などに合わせることができます。

7. 確認

既製品の家具はショールーム等で実際の家具が見られますが、オーダー収納は完成してはじめて見ることができる家具です。見て選べる既製の家具は質感等も確認できますのでお客様は安心して購入することができますが、オーダー収納というのは世界でただ一つの家具なので完成品で確認するしかありません。ですから多少不安は残るものです。その不安を少しでも減らすために打ち合わせや確認を密に行います。

8. 金額

既製品は大量生産の為安価ですが、オーダー収納は世界で一つだけの収納で打合せや搬入・取付けまで行いますので既製品よりは高価になります。

フルオーダー収納とセミオーダー収納の違い

オーダー収納は、フルオーダーとセミオーダーの2つに分類することができます

・フルオーダー

まずフルオーダーとは、形状はもちろん、素材や色、部品など全てにおいて、完全に一から依頼し製作するタイプのオーダーです。世界に一つだけ、自分だけのオリジナルのものが欲しいという方が利用されることが多いのではないのでしょうか。

フルオーダー収納のメリットは、形も色も自由自在なところです。既製品やセミオーダーではちょうどよい物がない時などにはフルオーダーが適しています。

対してデメリットは、製作期間の長さや費用です。プランの打ち合わせが密に必要ですし、製作に試行錯誤が必要になる事もあるので製作期間は長くなり、費用はセミオーダーよりは高価になってしまいがちです。ですが、自分だけの特別な品が完成した時の喜びは、一番大きいのではないのでしょうか。

・セミオーダー

次にセミオーダーとは、もともと決められたパターンの中から自分の欲しいパターンを選び、進めていくタイプのオーダーです。

例えば洗濯機の上に収納が欲しい場合、まずは扉付なのか、扉無しなのかといった形を選び、次に使用する扉や収納本体の材料の種類や色を選び、あらかじめ用意された付属品（ハンガーパイプなど）などを選んでいきます。

セミオーダー収納のメリットは、あらかじめ決められたパターンの中から選んでいくだけなので、細かい打合せなどが不要で、簡単に自分だけのオリジナルができるというところです。

フルオーダーのように、一から仕様を決めていくのは根気のいる作業になるので、あまり労力を使いたくないとか、気軽に頼みたいという場合にはセミオーダーが適しています。

そしてフルオーダーよりは抑えた金額で、期間もフルオーダーより短時間で仕上がります。

対してデメリットは、完全に世界に一つだけのものというところのお約束ができないという事。パターンの選び方によっては稀に他の方と同じものになる場合があります。

業者の選び方

何を得意としている家具屋なのかを知ること

家具販売店・木工所などに依頼すればどんな家具でも注文できると多くの方が考えます。ですが家具の業界では下記のような分類があり、どの分野を得意としているかを知する必要があります。

・ソファや椅子、テーブルなどの家具

・収納棚などの箱型収納家具

・無垢材を使用した家具

・塗装の必要な家具

それぞれに必要な機械や技術が異なるので、不得意な分野の家具はコストがかかってしまいがちです。イメージしやすい例を挙げますと、フランス料理店に和食を作ってほしいと注文するようなもので、同じ料理なのだけど道具も材料も違うので対応が難しいという感じです。

このことから、何が得意な業者なのか知る必要があるのです。

実績を知ること

得意としている分野が何であるのかを知るには、実績を知りましょう。

店舗什器専門や、ホームセンター向けの量産家具専門、公共施設や福祉施設専門、個人住宅専門、マンション造作家具専門であったりする場合が大半であると思います。

オーダー収納を作りたい場合は、個人住宅や、マンション造作家具を得意としている家具屋がおすすめです。そして、1つに絞らずに多様な実績のある家具屋があれば特にお勧めです。

なぜなら、多種多様な経験はオーダー収納の設計・製造・取付の全てに活かされてくることになるからです。

相場を知ること

オーダー収納には定価というものがありません。

オーダー収納の価格は、大きさや材料、収納の内容、設置場所等で変化します。

そのためオーダー収納の価格は、数十万円～が一般的な相場になります。

(コンパクトなものであれば、数万円～)

また見積り価格は、家具業者さんによって提案内容が異なるので、価格に差がでる可能性があります。

既製品の家具のように、買ってきたものをそのまま設置する。という訳にはいきません。お部屋の造作にあわせてオーダー収納を設置するため、本体とは別に、設計費や施工費、材料費がかかります。

とはいえ、予算には限りがあると思います。

そのようなときは、予算の中でベストなオーダー収納が製作できるよう要望を伝えましょう。

さらに、

信頼できる業者なのか

どの業種でも言えることですが、相性の合わない業者よりも、信頼できる業者にお願いしたいものですよ。星の数ほどある業者の中から信頼できる業者に巡り合うのは容易ではない事です。それでは、どんな業者が信頼できるのかというと…

・問い合わせなどに対する対応の良さ

お客様と向き合い、しっかり説明してもらえるか。



・素材・品質にこだわりがある

安いだけで選んでしまうのは粗悪品の可能性があります。値段も大事なポイントではありますが、安かろう悪かろうというように安いにはそれなりの理由がある事が想像できます。そういった家具は寿命が長くはありません。適材適所で材料を使い分ける事で寿命の長い家具になります。材料のことなど、あなたが解らなくても、使用目的などを伝えましょう。そうすることによって業者はアドバイスをしてくれることでしょう。

・貴方の願いを叶える裏方になってくれること

貴方が主役です。自分が作りたい収納ではなく、業者が作りたい収納になってしまう事の無いように不満があれば迷わずに伝えられる雰囲気が大切です。

・取付職人が専属かどうか

業者によっては外注の職人に頼っているところもあるかと思いますが、できれば専属の職人が居る業者をお勧めします。

専属であれば、その業者の製品の取付に慣れているのでスムーズに綺麗に設置することができます。

・製作前の現地確認（寸法確認）があるか

現地確認は、オーダー家具の注文時の重要なポイントになります。

ネットとお電話などでの対応のみで現地確認のないまま製作に入ってしまうと、取付当日にトラブルの発生が多くなります。

正確な寸法を測ってもらう事、業者目線で現地確認をして初めて気づく事もたくさんあります。

こういったことから、現地確認してくれる業者の方が安心です。

・取付当日のあいさつ

お客様へのあいさつはもちろん、ご近所へのあいさつや美化などきめ細やかな対応を心掛けている業者の方が気持ちが良いでしょう。

オーダー収納作りに失敗しないための5つのポイント

❗ point 1. 収納が欲しいスペースの状況確認

収納を設置したいスペースを決める際に気を付けたい点があります。
設置後の状況を想像してみましょう。

- ・設置したいスペースのそばに他の家具などがあり、扉が当たって開かないなどの不都合がないか。
- ・背の高い収納をご検討の場合は、天井の照明に収納の扉が当たってしまわないか。
- ・窓のそばに収納をご検討の場合には、カーテンボックスや、カーテン、ブラインドが干渉しないか。

このような状況が、プラン決めの際に影響することもあります。
プラン決定前にこのようなチェックをしておけると、プラン決めの時に役立ちます。
設置スペースをいろいろな角度から撮影し、その写真を業者に送ることができればなお安心です。

❗ point 2. 寸法の測り方

ご注文時にまず必要になるのが、収納を設置したい場所の寸法を測ることです。
設置したいスペースの幅・高さ・奥行の三点の寸法が必要になります。
この三点の寸法内で納まる収納プランを考えることになります。
その時に使うメジャーは正確に測るために、布製やビニール製のものよりも、金属製のメジャーをお勧めいたします。
実際に製作に移る前に、業者スタッフによる現地採寸があれば、ご自身で測られた寸法では心配ということもございません。

❗ point 3. 搬入路の確保・組立スペース

事前確認で必要になるのが、搬入経路の確認と組立スペースの確認です。

- ・エレベーターに乗らない
- ・階段でもあがらない
- ・玄関から入らない
- ・廊下から室内に入らない
- ・ベランダ等の引き上げるスペースがない
- ・組立スペースがあるか

このような確認を、現地調査などで行っている業者であれば当日の搬入・組立時のアクシデントが避けられます。

ご自身での確認が必要になる点。

- ・マンションの場合は管理組合への確認が必要になります

❗ point 4. 寸法の測り方

まずはサイズや仕様に間違いがないか、キズがないかの確認をします。
収納の不具合がないかの確認もしましょう。
扉の調子が悪い。引出しがスムーズに引き出せないなど。
その場で対応できる内容であればすぐに調整してもらうのが良いです。
後からの連絡になりますと、状況によっては有償対応になる場合もあるからです。

❗ point 5. 使用後に気になる事は相談を

納品後、使っていくうちに金具の動きが悪くなる事や、ガタツキが出たりすることもあります。
そんな場合は気軽に調整の依頼をしましょう。

最後に

オーダー収納の選び方のレポートは、あなたの暮らしが快適になる一つの方法になればという思いで作成いたしました。
お客様によって希望するサービスには違いがありますし、まだまだ足りないと思うところもあったかと思えます。今後メルマガなどでも情報発信をしていきたいと思っておりますので、その時はぜひ参考にして下さい。
最後までご覧いただきましてありがとうございました。

